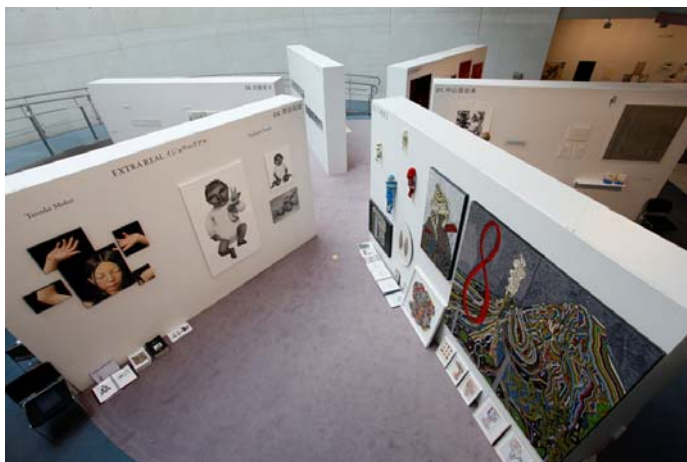


エマージング・ディレクターズ・アートフェア「ULTRA003」

オクトーバー・サイド 2010 年 10 月 28 日(木)～30 日(土)

ノヴェンバー・サイド 2010 年 11 月 1 日(月)～3 日(水・祝)

会場:スパイラルガーデン(スパイラル 1F)

60 名の若手ディレクターのセレクトによる、コンテンポラリーなアート作品が集結！

「ULTRA002」会場風景(2009) 会場:スパイラルガーデン
Photo: Katsuhiko Ichikawa

スパイラルは、2010 年 10 月 28 日(木)～11 月 3 日(水・祝)まで、ディレクター個人を出展単位とするアートフェアの第 3 回目、エマージング・ディレクターズ・アートフェア「ULTRA003」を開催します。

今や世界中で開催されるアートフェア。「ULTRA」は、40 歳以下の若手ギャラリスト個人を出展単位とする新しい形のアートフェアです。ギャラリーで日々実際に作家と対話し、作品の選定を行うディレクターにスポットをあて、彼らの新鮮な視点で選ばれた、まさに「いま」を切り取った現代アート作品が、多数集まります。作品を購入できるアートフェアですが、入場料はなく、展覧会と同様スパイラルガーデンのオープンスペースで、気軽に作品に触れることができ、また気になる作品についてディレクターに直接質問することも可能です。作品の購入をお考えの方だけでなく、どなたでも自由に楽しんでいただける空間です。

25 名のディレクターが参加した第 1 回目から、昨年はその倍の数の 51 名が参加し、今回はさらに増え 60 名の若手ギャラリストが集結。会期を 10 月 28 日(水)～30 日(土)の 3 日間のオクトーバー・サイドと、11 月 1 日(月)～3 日(水・祝)のノヴェンバー・サイドの 3 日間の、2 回に分けて多数の個性豊かなブースを展開。

今年は初めて、海外からのディレクターも参加。また、来場者から集計した「ベスト・ウォール賞」も発表します。

この機会に是非、ご取材をご検討いただけましたら幸いです。

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

◆スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 清水さえみ、加藤美穂、四元朝子(よつもとともこ)

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail press@spiral.co.jp WEB <http://www.spiral.co.jp/>



スパイラルは 2010 年 10 月、25 周年を迎えます。

開催概要

タイトル:エマージング・ディレクターズ・アートフェア「ULTRA003」

会期:オクトーバー・サイド 10月28日(木)~30日(土)
 ノヴェンバー・サイド 11月1日(月)~3日(水・祝)

会場:スパイラルガーデン(スパイラル 1F)

時間:11:00~20:00

入場料:入場無料

主催:ウルトラ実行委員会(現場商會+株式会社ワコールアートセンター)

企画制作:スパイラル、現場商會

出展者 (50 音順)

オクトーバー・サイド(30名)

熱海ゆかり	ギャラリー・テラ・トーキョー(東京)	松本佳代	ギャラリー ジン プロジェクト(東京)
郭中荃	ヴィキナターシャプロジェクト(台北)	松島英理香	カシ(東京)
深澤大地	ギャラリーアートコンポジション(東京)	みつまゆかり	ユカリアート・コンテンポラリー(東京)
原田裕介	相模屋美術店(東京)	宮下和秀	帝塚山ギャラリー(大阪)
池上朋	ユミコ チバ アソシエイツ(東京)	水野真弓	アートフロントギャラリー(東京)
石上良太郎	ワイオーディーギャラリー(大阪)	中山真由美	レントゲンヴェルケ(東京)
石井信	四季彩舎(東京)	作本潤哉	サクモット(東京)
石水美冬	スノーコンテンポラリー(シンガポール・東京)	鈴木一成	トキオ・アウト・オブ・プレイス(東京)
伊藤悠	アイランド(千葉)	高原貴子	ギャラリー紅屋(東京)
井浦歳和	ロイドワークスギャラリー(東京)	竹松千華	ギャラリーIDF(名古屋)
鹿又慧祐	タロウナス(東京)	たなかちえこ	新宿眼科画廊(東京)
河西香奈	スーパーストア(東京)	戸塚憲太郎	エイチビージーアールビーギャラリー東京(東京)
癸生川栄	エイトエイコ(東京)	オルガ・ヴォルガ	ヴォルガギャラリー(モスクワ)
小和田愛	アイコワダギャラリー(東京)	八木宏基	アルマスギャラリー(東京)
幕内政治	エックスチャンバーミュージアム(東京)	雪峰麻衣	アンシール・コンテンポラリー(東京)

ノヴェンバー・サイド(30名)

天野智恵子	アインソフディスパッチ(名古屋)	佐川永里子	モリユウギャラリー(京都・東京)
芦川朋子	ウェイティングルーム(東京)	サトウ藤子	カシ(東京)
平野明日佳	タクロウソメヤコンテンポラリーアート(東京)	澤田かおり	ファープル8710(大阪)
石橋圭吾	ニュートロン(京都・東京)	澤田梨絵	フランティックギャラリー(東京)
石坂徹朗	キリク(東京)	関根成年	ガレリア・デ・ムエルテ(東京)
岩瀬幸子	日動コンテンポラリーアート(東京)	島田浩太郎	アートフロントギャラリー(東京)
小暮ともこ	ロウワーアキハバラ(東京)	島田恒平	ギャラリー椿(東京)
牧高啓	マキファインアーツ(東京)	杉田竜平	ギャラリーモモ(東京)
南なつ	ミキコサトウギャラリー(ハンブルク)	杉山剛	ヨコイファインアート(東京)
三浦愛正	アイショウミウラアーツ(東京)	武方英恵	ギャラリータグボート(東京)
水野慶子	ユミコ チバ アソシエイツ(東京)	高野明子	マリア書房(京都)
根本佳奈	新生堂(東京)	立松武	スタンディングパインキューブ(名古屋)
沼尾久見子	ギャラリー空(東京)	鶴野ゆか	ユカコンテンポラリー(東京)
大島義之	オオシマファインアート(東京)	結城加代子	アイランド (千葉)
大谷和香子	ギャラリーショウコンテンポラリーアート(東京)	横井誠二	ギャラリー・ショアウッド

ULTRA を始めるにあたって

今や美術品販売の場として定番化し、活況を呈するアートフェア。最も歴史のあるアート・ケルン、頂点であるアート・バーゼルから、アジアにては、急激に成長を遂げた ART HK、昨年始まったばかりながら活況を呈しているヤングアート台北に至るまで、今やその数は全世界で400を超えるといわれ、世界中のギャラリストがビジネスチャンスをつかもうとその出展にしのぎを削っています。国内においてもアートフェア東京は言うまでもなく、アート大阪、アートフェア京都、東京コンテンポラリーアートフェア(本年より「+PLUS」に改称)に、本年初頭に実施され話題をまいた G-TOKYO、写真に特化したフォト東京等、枚挙に暇がありません。

御周知の通り、アートフェアの出展単位は基本的にギャラリーです。法人単位、と言っても良いでしょう。殆どが自らの取り扱い作家をグループ展で並べ、販売する、という形式です。一方で大型のフェアの一角で若いアーティストが個展形式での展示販売をある種イベント的に展開する、という方法も数多く取られています。そうした中、この企画である「ウルトラ」はこれまでの方法から一線を画すアートフェアです。

「ウルトラ」は法人を出展単位としません。また、アーティストの個展もその旨としません。

Q.ではその単位は？

A.ディレクター。

「ウルトラ」はディレクター個人をその出展単位とする事で、美術が本来持っているであろう、「個」の力を作品から、また展示から、またマーケットから引き出すという目論見のもと企画されます。ディレクター＝オーナー＝ギャラリーなのだから これまでのフェアと同じではないか？という意見もありましたが、責任の所在を個人に移行する事で生まれる、心理的な効果は、いつものアートフェアとはまた違った空気を生み出すでしょう。更に、一つのギャラリーから複数のディレクターが出展する、という事も「ウルトラ」は歓迎します。

さらに、出展ディレクターの年齢制限を設けます(出品作家には設定しません)。美術業界の活性化という観点からも若い世代がその表現の場を持つ事は大変に重要な事です。一方で、オープンから何年以内、という事では、画廊がくるくると入れ替わる、目新しいだけのフェアという、逆説的に保守的なフェアになるだけで、未来に残せるものにはなりません。同じ画廊から、若いディレクターが先輩の助言のもと新しい世界観を生み出す、またそのディレクターが独立し、ウルトラ、またより上のグレードのフェアに参加する、そんな状況こそが、より良いマーケット構築につながるものと考えます。こうした事から年齢制限の力を利用し、常に若々しく、常に瑞々しいフェアの継続を図るものです。

今回は、2会場制から2会期制としました。会場はスパイラル1階、スパイラルガーデンとなるため、入場は全面的に無料です。前期である「オクトーバー・サイド」にてはオープニングパーティを開催し、後期「ノヴェンバー・サイド」最終日にクロージングパーティを行います。ここでは会期中にお客様から集計した「ベスト・ウォール賞」を発表します。受賞者2011年に予定される「ウルトラ004」での無審査・最低コミッションの免除の権利を副賞として授与されます。

ウルトラはその語源であるラテン語の、「～の彼方に、～を越えて」のように、新しいアートフェア形式の提言と形成、それによって新しい形での美術マーケットの体力増強を、その旨としています。

2010年9月1日

「ULTRA003」実行委員会 フェアマネージャー 池内務